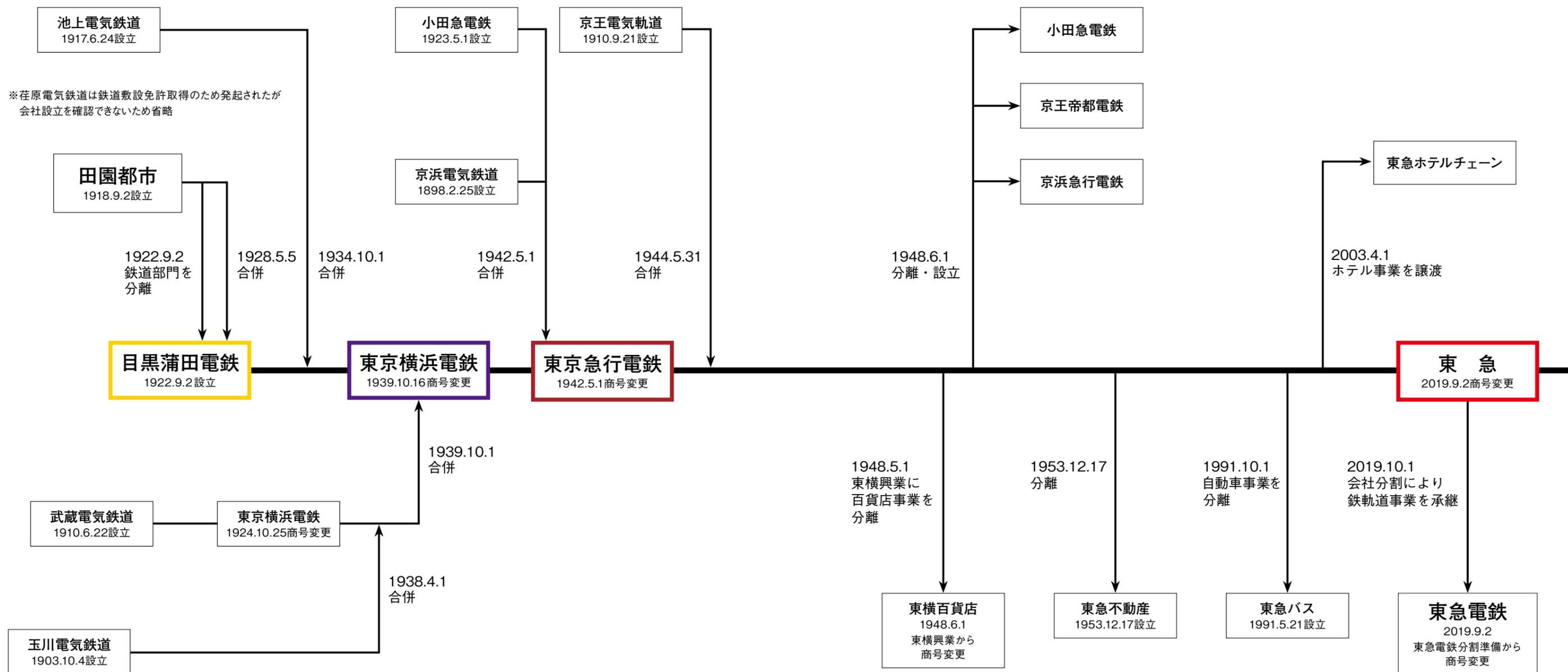


会社沿革図・歴代社紋



社紋の変遷



目黒蒲田電鉄株式会社
1923年ごろ～1939年9月



東京横浜電鉄株式会社
1925年ごろ～1942年4月



東京急行電鉄株式会社
1942年5月～1973年4月

小田急電鉄、京浜電気鉄道との合併により東京急行電鉄が誕生した際に制定。丸の中にレールの断面、両側に飛躍を表す羽を配置し、束縛を表す丸を羽が破っているところに特徴があり、社業が束縛を破り、ますます飛躍発展する期待を込めた。多摩美術大学主任教授・杉浦非水氏のデザインによる。



東京急行電鉄株式会社
～東急株式会社
1973年5月～現在

当社創立50周年記念事業の一環で、東急グループ共通の「統一マーク」として制定。マークの中央にある楕円はグローバルな企業集団をめざす東急グループの意を込めて地球を表現、その内部の白抜き部分は「TOKYU」の頭文字Tを圖案化したと同時に4事業部門（交通・開発・流通・健康産業）をもって、総合的に事業展開を図ろうとした、いわゆる「三角錐体論」による三角錐体の俯瞰図を表した。三つの先端部が楕円に接して伸びるさまは、世界の各地に事業網を広げていくという考え方で、さらに3本の弓状の弧は、楕円と共に東急グループの4事業部門を指し、外側に向かって順次広がっているさまや上部に広がって伸びる具合は、それらの事業が今後とも限りなく永遠の成長、拡大・発展の意を込めた。グループ会社の多くは、この統一マークにそれぞれの英文社名（当社はTOKYU CORPORATION）を上部に組み込み社紋として使用している。